

大会宣言

私たちは、秋田大会のテーマ「みつめてみとめてあなたと私～ 多様性（ダイバーシティ）とは～」に、さまざまな思いや考え方の違いを尊重して受け止め、性別や年齢、職業、国籍、障がいなどをこえて、一人ひとりがこうありたいと望む姿に少しでも近づくことができる、多様性を認める社会をつくるため、今、ここから行動したいという思いを込めました。

現在、男女共同参画社会の実現と女性の活躍の推進を図る気運が高まり、女性が輝くステージが広がる一方で、さまざまな場で依然として、偏見や差別に苦しみ、自分らしく生きることができない人や、それが難しい人は決して少なくありません。

大会期間中、私たちは、厳しい人口減少と少子高齢化が進行する秋田において、だれもが幸せで豊かに暮らせる社会を築くために何が必要かについて思いを巡らせ、「自分の思い」を伝えること、そして「あなたの思い」を受け止めること、そのどちらも共に大切であるということについて、考えを深めてきました。

ここに、私たちは、宣言します。

私たちは、互いに尊重しあい、一人ひとりの個性や能力が発揮できるよう、まず自らを見つめ、自分自身の中にある偏見や差別に真摯に向きあいます。そして、人と人との間にあるこうした壁や厳しい現実から目をそむけずに、率直に人と接することから始めます。

私たちは、多様性を受け入れることから始まる、すべての人が自分らしく暮らせる成熟したまちづくり、地域づくりを目指します。

私たちは、だれもが豊かな暮らしを実感できるよう、それぞれの思いを伝えあい、気遣いあう社会を目指し、一人ひとりができることをできるところから行っていきます。

私たちがはじめる秋田からのささやかな取組みが、次世代に引き継がれ、そしていつの日か、だれもが笑顔で暮らせる真に多様性を認めあう成熟した社会が実現することを強く望みます。そして、今、ここから、その実現に向けて行動します。

2016年10月29日

日本女性会議2016秋田